

# 日大藤沢同窓会報

**第31号**  
 日本大学藤沢高等学校・藤沢中学校同窓会  
 事務局：〒252-0885  
 藤沢市亀井野1866  
 TEL.0466-81-0123  
 FAX.0466-83-2161  
 発行責任者 坂井 太  
 編集 会報編集委員会

## 歴史ある日藤の卒業生として これからの母校を想う

同窓会会長 坂井 太



今年も我が母校では多くの部活動で在校生が大活躍を見せてくれました。それもこれも、大勢の皆の力、そして何よりも日々の練習の成果です。私も今年の夏は野球部の試合を見る機会に恵まれました。選手の家族や友人、ブラスバンド部をはじめとする、多くの部活動が応援を組んで、一生懸命に応援をしてくれました。そこには熱心な先輩方も大勢お見えになられていました。

炎天下の中、白球を追いかける高校球児たちを、一緒に苦労したであろう監督やコーチが大声で叱咤激励しています。もちろん相手の高校も負けじと工夫を凝らした応援をしてき

ます。監督さんが引率してきた、地域の少年野球のユニフォームを着た一団にも出会いました。子どもたちから見れば、プレイをしている高校生は立派なヒーローなのでしょう。彼らの瞳がキラキラしていたのがとても印象的でした。また、球児たちが白熱したプレイをするために大会運営をする、今日試合のない高校の生徒が場内整理やチケット販売、

場内アナウンスなどに駆け回り、他校や見知らぬ人であつても行き会えば挨拶をしあい、会場全体が気持ちの良い熱気に包まれて、お互いに「大会、一生で二度とない時間を楽しんでいよう」と感じました。ふと、普段の生活の中で忘れかけていた「熱さ」に触れた気がしました。

私は今年50歳を迎えました。ちょうど今、50歳の記念にと初めてクラスを開く計画が持ち上がっています。そんな話をしているとき、友人が「高校生活というものは、友と青春を語り合い、勉強に励み、部活動に打ち込む中で夢を抱いて大人への一歩を踏み出さないと、そういってはいけません。一生の友人がそばにいてくれることが、この時

幕を開けました。高校生活は基礎学力到達度テストで将来を展望し、中2から高3は校外学習で新しいクラスでの親睦を深め合いました。6月の日藤祭、7月の球技大会でクラスはさらに団結していったように思います。夏休み期間中には、高3は5泊6日の勉強合宿、中2は3泊4日の林間学校、中3・高1・2はオーストラリア語学研修がありました。そして、多くの部活動が関東大会や高校総体などで輝かしい成績を収めてくれました。表彰台に上った主な部活動は次の通りです。レスリング部、ソフトテニス部、水泳部、サッカー部、ウエイトリフティング部でした。

日本選手権やジャパンオープン、世界ジュニア選手権、全JOCジュニアオリンピックカップ、国体などで活躍した競泳選手やシンクロのアジア・エージグループ選手権大会で日本代表として活躍した生徒たちは、2020年の東京オリンピックに期待したいと思います。

10月、中3は京都・奈良・広島へ、高2はカナダへ修学旅行でした。中3は飛鳥・奈良・平安時代の日本の遺産、そして平和の

## 先輩たちの期待に応えて 今年度も活躍してくれた生徒たち

学校長 押尾 良仁



教育熱心な教職員と優秀な生徒たち、そして他の誰よりも本校のことを愛してやまない同窓会の皆さま、並びに保護者、後援会の方々のお蔭で平成29年度も無事に終えることができました。本当にありがとうございます。特に同窓会からは毎年、在校生や

学校行事に対して一方ならぬ援助をいただいております。毎年恒例の定期演奏会への生花、部活動備品購入補助、生徒用図書への寄贈、部活動遠征費用の補助をいただいております。またここ数年にわたって、日本大学創立130周年記念募金にもご協力をいただいております。そのほか新

規のものとしては、硬式野球部の試合応援に際してのタオル、うちわをご提供いただきました。日藤祭では英語プレゼンテーション大会の副賞補助にご協力をいただきました。進路指導に對しても、他大学の施設見学の費用や進路講演会の講師派遣費用、小論文面接試験用の指導DVDの購入補助をいただきました。重ねて感謝申し上げます。

さて私は、平成25年1月より藤沢高校に着任させていただきました。早いもので5年が経ちました。あつという間の5年でした。この間大きく変わった景色といえ、小学校の開校と新しくNFグラウンドが建設されたことでしょうか。小学校は無事に4年目を迎えることになりました。小さな児童たちも、その成長した姿で毎日私たちに和ませてくれています。

平成29年度の日藤祭は、4月に中学1年生の2泊3日のオリエンテーション合宿で幕を開けました。高校生活は基礎学力到達度テストで将来を展望し、中2から高3は校外学習で新しいクラスでの親睦を深め合いました。6月の日藤祭、7月の球技大会でクラスはさらに団結していったように思います。夏休み期間中には、高3は5泊6日の勉強合宿、中2は3泊4日の林間学校、中3・高1・2はオーストラリア語学研修がありました。そして、多くの部活動が関東大会や高校総体などで輝かしい成績を収めてくれました。表彰台に上った主な部活動は次の通りです。レス

リング部、ソフトテニス部、水泳部、サッカー部、ウエイトリフティング部でした。日本選手権やジャパンオープン、世界ジュニア選手権、全JOCジュニアオリンピックカップ、国体などで活躍した競泳選手やシンクロのアジア・エージグループ選手権大会で日本代表として活躍した生徒たちは、2020年の東京オリンピックに期待したいと思います。

10月、中3は京都・奈良・広島へ、高2はカナダへ修学旅行でした。中3は飛鳥・奈良・平安時代の日本の遺産、そして平和の大切さを学んでまいりました。高2は現地校で国際交流の一端に触れたり、カナダの自然を味わってまいりました。11月の体育祭は、天気にも恵まれ、各種目や応援合戦で大いに盛り上がりました。校内芸術鑑賞会では津軽三味線と和太鼓を鑑賞。1月、中学百人一首大会、高校推薦入試、全校マラソン大会。2月、中高入学試験、合唱コンクールと慌ただしさの多い時期となりました。3月の高校卒業式を迎える時期となりました。あつという間に一年の日々が流れ、397名の生徒たちが日藤を巣立っていきま

す。未来の日本を背負って活躍してくれることを期待します。そして、我々教職員一同は、先輩たちのご期待に応えられるよう、これからの日本大学藤沢高等学校・藤沢中学校の発展のために頑張つてまいりますので、引き続き温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

結びになります。部活動や学校行事に対する同窓会からの援助に深く感謝申し上げます。同窓会のご発展とご健康とご活躍を祈念いたします。

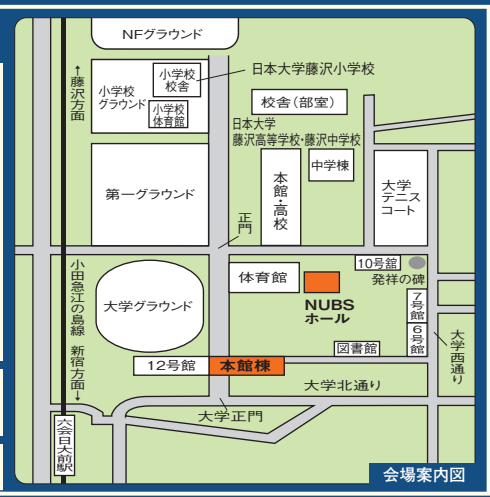
### 平成30年度同窓会 総会・懇親会のご案内

定例総会と懇親会を、生物資源科学部NUBSホール(予定)において開催いたします。総会の案内状がお手元に届かない場合がありますが、同級生およびクラブ活動等の卒業生をお誘い合わせの上、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

- 記
- 日時 平成30年5月下旬(予定)※
  - 場所 総会・懇親会 日本大学生物資源科学部NUBSホール(会場案内)または、本館棟 地下1階食堂(予定)※(を参照)
  - 会費 一人 3,000円
- ※開催日時及び開催場所につきましては決まりましたら、下記ホームページにてお知らせいたします。予めご了承ください。

**お知らせ** 同期会、クラス会など実施の際、通信費などの補助金が出ますので事務局までご一報ください。  
※開催の日時、場所、出席者人数、領収書などが必要です。

●ホームページ <http://www.fujisawa.hs.nihon-u.ac.jp/>





# サッカー部 2017 インターハイ準優勝



昨年の夏に宮城県で行われた全国高校総合体育大会(インターハイ)において本校のサッカー部が準優勝という輝かしい成績を残しました。インターハイ決勝までについて報告させていただきます。

1回戦の対戦校は奈良県的一条高校、34分に柏木君(3年)が先制点を決め、後半はその破、次の2回戦の対戦校は優勝候補の一角である埼玉県代表の昌平高校、前半主導権を握つ

た昌平高校、32分に先制点を許した。しかし後半に入るに反撃を開始、58分に三田野君(3年)が同点を決め、さらにその後オウンゴールにより、わずかに1分で逆転に成功した。その後の猛追があったが守りきり、2回戦を突破した。

3回戦の相手校は山梨県代表の帝京第三高校、前半0-0のまま後半に62分に小屋原君(3年)、77分にギブソン・マローン君(3年)がそれぞれ決め、3回戦を突破、準々決勝の相手校は北海道代表の旭川実業高校、前半は先制されたが30分に桐君(3年)が1点を返し後半へ、70分にコナーキックから梶山君(2年)が決め、2-1、これを守り準決勝に駒を進めた。

準決勝の相手は強豪の千葉県代表の市立船橋高校で前半から攻勢をしかけてきた。しかし日大藤沢もそれに対抗、後半を迎え23分に1点を奪われ苦しい展開が続いたが、進展がないままにアディショナルタイムに、誰もが敗戦を覚悟したとき、菊地君(3年)のボレーシュートがゴールネットに突き刺さり、土壇場で試合を戻した。そしてPK5人全員成功で決勝に進出。

いよいよ決勝戦、相手は2008年に優勝して千葉県代表の流通経済大学付属柏高校は前半から攻勢をしかけていく。それに日大藤沢は粘り強い守りで跳ね返す。そして後半終了間際相手に1点を奪取られ、これが決勝点となった。この時期の猛暑と過酷な日程、選手は最後まで戦いぬくことができた。これも選手一人一人の地道な努力、応援し続けた部員、そして顧問の佐藤輝勝先生とコーチ陣の取り組みにより成し遂げることができた。また優秀選手として、柏木君(3年)、安松君(3年)、梶山君(2年)、比留間君(2年)の4人が選ばれた。最後に今後のサッカー部の活躍、これよりも良い結果になることを期待したいです。

日大藤沢高等学校 サッカー部 2017年 全国高校総合体育大会(インターハイ)成績

	日程	本校	結果	相手校
1回戦	2017年7月29日	日大藤沢(神奈川)	1-0	一条(奈良)
2回戦	2017年7月30日	日大藤沢(神奈川)	2-1	昌平(埼玉)
3回戦	2017年7月31日	日大藤沢(神奈川)	2-0	帝京第三(山梨)
準々決勝	2017年8月2日	日大藤沢(神奈川)	2-1	旭川実業(北海道)
準決勝	2017年8月3日	日大藤沢(神奈川)	1-1 (PK 5-3)	市立船橋(千葉)
決勝	2017年8月4日	日大藤沢(神奈川)	0-1	流通経済大柏(千葉)

# 支部便り

同窓会には7つの支部があり、様々な活動を行っています。  
お住いの支部に入って一緒に同窓生の輪を広げませんか？



毎年9月上旬に懇親会を開催(平成29年9月)



忘年会の様子(平成28年12月)

## 西湘支部

西湘支部 米山 信治(昭和47年卒)

支部恒例の忘年会を小田原魚がし(すし店)で平成28年12月3日(土)に行いました。冒頭田淵支部長(昭和41年卒)より挨拶および乾杯で開宴になり、世間話で始まり、いつの間にか、今年活躍した同窓生の話題へと進み、各自が在校時の思い出話で盛り上がり、あっという間の2時間が過ぎました。最後に大学校歌、高校校歌を全員で斉唱し、母校・同窓会・支部の発展と、出席者の健康を祈って三本締めにてお開きとなりました。

## 茅ヶ崎支部

茅ヶ崎支部 二ノ宮 雅一(昭和53年卒)

平成29年4月より茅ヶ崎支部長に就任しました昭和53年3月卒業の二ノ宮雅一と申します。伝統ある母校の大先輩、同級生そして後輩の皆さま、よろしくお願ひ致します。今年で茅ヶ崎支部は、設立20周年を迎える節目の年に、5代目を引き継ぎまして責任の重さに身の引き締まる思いです。私は卒業してから40年が過ぎようとしていますが、校歌を合唱すると走馬灯のように今までの思い出が脳裏を駆け巡り、もう少し早く同窓会のあることを知っているたら、いろいろな出会いがあり卒業生としての自負と母校愛が今以上に生まれたいと思います。同窓会のイメージとは？どのような活動、行動を応援、支援すると共に先生との交流や親睦、同窓生同士の友情と繋がりをひろげてオール日大藤沢

## 横浜・横須賀・鎌倉支部

平成29年度横浜・横須賀・鎌倉支部合同懇親会

柴田 博和(昭和51年卒)

毎年恒例の横浜・横須賀・鎌倉支部3支部の合同懇親会が、今年度も10月28日(土)18:00から横浜国際ホテルで開催された。この時期には珍しく2週連続で台風が発生し、前の週は関東地方を直撃し被害をもたらした。また懇親会のある週の末は上陸の恐れを心配される中での開催であった。参加人数はご来賓として校長先生、教頭先生、事務課長、支部担当教諭、旧教諭の方々が10名、同窓会会長をはじめ常任幹事23名、3支部会員18名の総勢51名で行われた。18:00定刻通り、司会進行担当の昭和52年卒横濱支部事務局・熊田氏が自己紹介があり、開会の辞は、昭和53年卒横濱支部・柳澤氏の発声により執り行われた。引き続き支部長挨拶として、昭和38年卒・飯田昌巨横濱支部長、昭和46年卒・津島哲夫横須賀支部長、昭和42年卒・柴田幸雄鎌倉支部長が登壇し、銘々が出席者に対し謝辞を伝えられた。来賓ご挨拶として、押尾校長からは近況報告として修学旅行が無事終了した事、昨年の日大進学率が40%他大50%、野球部・サッカー部の活躍などの話があった。続いて、昭和60年卒同窓会会長・坂井太氏から会開催への祝辞があった。この後、司会からご参加くださった教頭先生、事務課



懇親会の様子



懇親会のイベントの様子



新・旧支部長のあいさつ(左・岡 甫氏、右・二ノ宮 雅一氏)



懇親会の様子

これからも茅ヶ崎支部を温かく見守っていただき、また、各支部のご発展をお祈り致します。諸先輩の皆さまから見れば駆け出しの若輩者ではございますけれど、伝統を重んじ努力してまいりますのでこれからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。最後になりましたが、皆さまのご健康とご多幸を祈念致しまして、新任のごあいさつとさせていただきます。



年卒横濱支部・柴田博和(文責者)が三本締めで締めくくり、盛会の宴はお開きとなった。



# 活躍する『日大藤沢』卒業生

今回紹介する武紘一氏は、本校を昭和34年に卒業した。同氏は本校の柔道部出身で、卒業後東海大学工学部応用理学科に進まれ、初代柔道部主将を務めました。同氏は防音材の研究により、発明大賞を受賞、さらに文部科学大臣表彰で科学技術賞「技術部門」を受賞されました。石井通義元校長から楠本教頭あてに資料が送られたのは平成28年7月のことです。ぜひとも武氏のことを同窓会報に掲載してほしいとの依頼がありました。石井前校長が昭和35年卒の同期会に出席した折に同級生の高橋正人氏から話を伺ったことから今回の紹介となりました。同窓会報でも以前には活躍するOB・OGを数多く紹介していましたが、本号から復活することとなりました。本来なら30号で掲載する予定でしたが、紙面の都合で本号となりました。同窓生の方で活躍するOB・OGをご存知の方は事務局まで情報を提供いただけましたら幸いです。(文責 柳澤)

## 武 紘一 (昭和34年卒)



武 紘一 プロフィール

発明の土台となった東邦化学工業株式会社 技術部時代ウレタン樹脂の開発「断熱材」を担当

- 技術歴**
- ① 1971年(30歳)の日刊工業新聞社が発行した「工業材料」に、ウレタン業界を代表して、開発成果「断熱材」(全9ページ)の掲載
  - ② 現天皇陛下の皇太子時代に、「ウレタン発砲の実演」を三保造船所視察の時に披露した。(昭和44年頃、ウレタンは漁船の冷凍庫に断熱材で使用)
  - ③ 平成元年JIS制定の「吹付けウレタン断熱材」原案作成委員 以上東邦化学時代
  - ④ 平成23年度 土木学会「環境賞」、機械学会「技術賞」
  - ⑤ 平成27年度 発明大賞本賞受賞

- 大学時代略歴**
- 1959年 東海大学工学部入学/専攻:応用理学科工業化学
  - 1961年 柔道部主将 東京学生第2部柔道部優勝大会団体3位入賞(柔道部創設初入賞)
  - 1962年 体育会会長(体育会常任委員長) 大学創立20周年記念学生代表祝辞(元総理片山哲他著名人多数の席) 創立20周年記念「静岡県三保一代々木校舎」間苗木ルーエ実行委員長 創立20周年記念体育祭実行委員長
  - 1963年3月 卒業式答辞

### 東海大学のオフィシャルサイトより

### 工学部の卒業生が平成29年度の文部科学大臣表彰で科学技術賞を受賞しました

工学部応用理学科(工業化学専攻)を1962年度に卒業した武紘一さんがこのほど、文部科学大臣表彰で科学技術賞「技術部門」を受賞。4月19日に文部科学省で表彰式が催されました。同賞は、科学技術に携わる研究者、開発者の意欲や日本の科学技術水準の向上を目指し、顕著な成果を収めた開発者に贈られるものです。

武さんが開発したのは、「吸音性に優れた通気性サンドイッチパネル」という防音材で、吸音特性を生け花の剣山に使われている吸水性の硬質フェノールフォームに見出したのです。従来の防音材は、グラスウールという繊維系吸音材が使われており、この材料は柔軟で低周波音を吸収しないという短所がありました。武さんは、軽量で、吸音に適した硬質フェノールフォームに着目。この材料は脆いため工業材料には不向きとされてきましたが、脆さを逆利用し、蜂の巣状のハニカム材に押し込むことでその弱点を克服し、商品化へと至りました。

2006年には基本となる特許を取得し、高速道路や輸送機器工場、一般住宅等の騒音対策に、又音響分野



平成29年度文部科学大臣表彰 科学技術賞「技術部門」

では音質向上などで使われることがあります。2011年に発生した東日本大震災の際には、仮設住宅の騒音対策に防音材を無償で提供し、騒音被害の解消がテレビや新聞をはじめ多くのメディアで取り上げられました。さらに、15年には日本発明振興協会と日刊工業新聞社が共催する発明大賞で最高位の本賞も受賞しています。

武さんは、「在学時代には研究部と同時、柔道部の3代目主将や体育会常任委員長を務めた中



表彰式にて

「東海大学のオフィシャルサイト」 2017年6月20日



「発明と生活」 2015年5・6月号

## 第40回発明大賞・授賞者代表挨拶 「発明研究奨励金」をいただき、防音材分野で、吸音性能及び遮音性能を研究

発明大賞本賞受賞 株式会社静科 経営企画室室長 武 紘一

私の発明は、サンドイッチ構造による防音パネルと、その製造方法にあります。科学の世界では、発明は、「材料あるいは反応条件」の工夫から生まれることが多くあります。私が選択した材料は、女性なら誰でも知っている「生け花用の剣山」です。この材料は、硬質フェノールフォームという合成樹枝の発泡体であり、「軽い、燃えない、吸音に適した多孔材」との長所がある反面、短所として「脆い、水を吸う」があり、工業材料には不向きであること、片付けられていました。

発明では、短所について、解決手段を見出すことが重要です。材料の「脆さ」については、ハニカム材の空間に押し込むことで解決する方法を試みました。やってみると、フォームが壊れず、抵抗なく充填できたのです。次に「吸水性」については、水溶性接着剤の硬化を促進させる「水分吸収剤」として、逆利用しました。この技術は、平成18年5月に特許登録されました。

特許登録されても、その価値が世間に認められることが重要です。価値を証明するための資金を模索していた時に目に入ったのが、日刊工業新聞に掲載された日本発明振興協会の「発明研究奨励金」の案内です。早々に応募し、交付して頂きました。

次の段階は、商品に値する性能を実現することでした。材料の実現方法が、特許登録されただけでは売れません。しかし、発明商品が世に出る機会が、突然にやってきました。東日本大震災の仮設住宅で、騒音の苦情があることを新聞で知り、防音材料を無償で提供したところ、騒音が解消され、新聞にも報じられました。騒音を解消する技術は、TBSの番組「夢の扉」で取り上げられ、震災翌年の4月15日に全国放映されたのです。放映後、注文が殺到し、技術及び商品が一気に世に知られることになりました。

発明研究奨励金の交付を受けた2年後に、成果に関する調査がありました。その際に、奨励金の委員の方から「今日は誠に有難うございます」との励ましのお言葉を頂きました。昨年、実績をまとめ、応募をいたしました。現在は、国内12件、海外2件の特許登録をいたしました。商品は、用途別、周波数別に10品種を品揃えし、お客様がカタログ及びネットから選んでいただけるように整えました。本技術は、工場機器から発生する騒音、住宅の生活騒音、高速道路のジョイント騒音等、低周波数を含めた騒音の解消、また音楽分野にも貢献できております。

社内の後継者も育ち、昨年は、大量受注にも対応できる、本格的な製造工場を所有することができました。本年は、「発明大賞40周年記念」、また「日刊工業新聞が創刊100周年記念」の年ですが、弊社も創立10周年を迎えました。発明者として、この節目の年に、この席に立たせて頂き、感激しております。

賞を汚すことなく精進し、副賞は更なる技術開発に、使わせていただきます。

本日は誠に有難うございます。

「発明と生活」 2015年5・6月号 掲載

武 紘一氏 関連掲載記事



「中小企業サポートかながわ」第172号・2015年7月掲載

### 支援事例シリーズ Vol.2 専門家派遣

Before → Action → After

特許申請の「拒絶」が来るたび、「ここからが本当の戦い」と江藤さんの意気が上がるのです

## いつか下請からメーカーへ！ 志叶えた「特許」の力

株式会社 静科 経営企画部長 武 紘一 氏  
高橋健二社長 創業平成16年/得意/食品/印刷/販売/特許取得国内12件/海外1件/従業員数7名/厚木市金田492-1 TEL:046-224-7200

「特許申請の「拒絶」が来るたび、「ここからが本当の戦い」と江藤さんの意気が上がるのです」

いつか下請からメーカーへ！ 志叶えた「特許」の力

お蔵入り寸前の技術が 発明大賞本賞へ

「まだ可能性ありますよ」

再チャレンジ

◆◆◆アドバイザーの目線 ◆◆◆

さまざまな経営課題の解決のため、KIPでは専門家を「経営アドバイザー」として派遣しています

●お問い合わせ 地域連携課 TEL 045(633)5201

中小企業サポートかながわ 2015-7

## ものづくり日本大賞

# 内閣総理大臣賞に24件

### 第4次産業革命にらむ

政府は15日、突出した技術や技能をたたえる第7回「ものづくり日本大賞」の受賞者を発表した。内閣総理大臣賞、白立製作所やI.T.エスチールの研究が24件、71人を選出。このほか、経済産業大臣賞、特別賞、優秀賞の受賞者が244人、3団体も決まった。第4次産業革命への対応、地球環境化など社会課題に向き合う取り組みに着目し、IoT（モノのインターネット）導入などを促す経済産業省の戦略「コネクテッド・インダストリー（CI）」に通じる案件を選んだ。

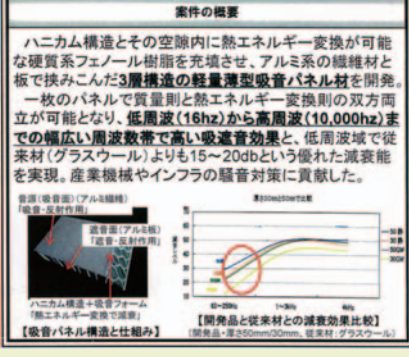
白立の受賞案件は、小型ながら、従来比2倍のI/O化できる技術として期待される「世界最高性能のI/O 50000倍の高感度I.T.センサー」がテーマで計測できる。機械・IT技術が評価された。同技術で製造プロセスを改善し、数値化

排出を大幅削減できる製鉄技術が評価された。同技術で製造プロセスを改善し、数値化

内閣総理大臣賞は22

日、経済産業大臣賞と併せて表彰された。特別賞は9月5日に、省が連携2年に1度実施している。

受賞者名	受賞理由	受賞者	所属企業	所在地
武 紘一	低周波音に有効な軽量薄型で吸音機能を一体化させた静音化パネルの開発	武 紘一 他4名	株式会社静科	神奈川県厚木市



第7回ものづくり日本大賞「優秀賞」  
製品・技術開発部門



## 発明大賞 本賞

### 吸音性に優れた 通気性サンドイッチパネル

■はじめに

■開発の経緯

■開発資金

■吸音材料の開発

表1 構成材料と減音の働き

構成材料	材料の仕様	減音の働き
吸音面材	開口率38%の1.6tアルミ繊維材	制振・吸音
吸音フォーム	開口率98%、吸水性硬質フォーム材	制振・吸音
空気層	吸音面及び遮音面に選んだ空気層	吸音・制振
強度部材	ハニカム材	強度・制振
遮音部材	厚さ1.2tのアルミ板	遮音
接着剤	水溶性、エポキシ系	制振

図1 サンドイッチパネル構造

## 「発明と生活」 2015年5・6月号 掲載

受賞者

株式会社 静科 経営企画室 室長 武 紘一

図2 残響室法吸音率

図3 透過損失

図4 「高速道路ジョイント騒音の対策」

市場が求める吸音材料

市場が求める吸音材料	特許	重量kg/m <sup>3</sup>	厚さmm	対応商品名
軽量薄型で幅広い周波数帯の騒音に対応する材料音場での吸音・調音ができる材料	3806744	8	33	タイプA
薄型で遮音効果の大きい材料	4972711	13	38	Aプレミアム
吸音性能が優れ、放熱性がある材料	4254807	8	33	タイプD
100Hz以下の超低周波騒音の低減に効く材料	4972711	14	66	タイプL
発音・臭気がなく、耐久性がある材料	4362597	9	36	タイプZ
耐熱性の防音壁材料	5122697	8.13	33.38	耐熱吸音壁
床衝撃音吸収、転倒時の安全性が高い材料	5555893	1.3	16	Grand
薄型で粘着性があり、カッターで加工できる材料	5127975	0.8	15	Esprit
中高域用・粘着型でカッターで加工できる材料	5127975	1.8	38	Esprit Life
高速道路のジョイント部の騒音低減材料	4982767	8	33	突発騒音吸収装置

■製品提案(商品名「一人静」)で市場対応

■開発材料の将来性

# 友情の絆を 結ぶ同期会

同じ学舎で青春を謳歌した同期生。再会し、昔を回顧し語り合う楽しさ、再び友情を確かめ合うのが同期会です。同期会での結束が同窓会の発展にもつながります。ぜひ、皆さまも積極的に同期会を開きましょ。

## 第25期卒業生同期会開催報告

熊田成之(昭和52年卒)

日時:2017年3月19日(日)13:00~16:00  
場所:NIJYUIMARU横浜本店

19クラス全体同期会を開催しようとして声を掛け合い、幹事数人で準備に3年、卒業して42年目に19クラス全体同期会がようやく開催することができた。

大和田氏(サッカー部)の司会進行、三塚氏(サッカー部)の幹事代表挨拶、恩師高松先生よりご祝辞を頂戴し、熊田(吹奏楽部)・日大藤沢同窓会副会長)から学校近況報告を行って、三塚氏の乾杯でスタート。懐かしい顔ぶれに学ラン時代を思い出し、35名は高校時代へとタイムスリップした。あつという間に3時間は過ぎてしまい、濱田祐子さん(演劇部)の音頭で校歌斉唱。加藤氏(13組幹事)より次回もまた元気に会おうと三本締めを行ってお開きとした。



同期会の様子

# 同窓会委員会再編 6委員会を3委員会へ正式に決定しました。

同窓会特別委員会が正式に決定しました。会長・副会長・常任幹事計13名で平成29年8月19日(土)に横浜市栄区にある会場にて打ち合わせがありました。30号でお知らせしました4委員会について審議したところ、組織運営委員会に運営することは、広報委員長には私、

特別委員会で行うことに異議があることから委員会は設置せず、総務委員会・企画委員会・広報委員会の三本柱でより活発な活動を目指すことになりました。総務委員長には、石井敦氏(昭和53年卒)が、企画委員長には、飯田昌巨氏(昭和38年卒)が、広報委員長には私、

(文責 柳澤)

柳澤が就任することになりました。各委員会とも委員の数が大変少ないことから、委員の獲得にも力を入れます。興味のある方はぜひ委員会に参加していただきたいと考えております。

## 平成29年8月19日(土)特別委員会 委員

役職	氏名	卒業年	支部
1 会長	坂井 太	昭61	横浜
2 副会長	井上 蔚美	昭36	湘南
3 副会長	長瀬 英夫	昭36	藤沢
4 副会長	田淵 秀一	昭41	西湘
5 副会長	柴田 幸雄	昭42	鎌倉
6 副会長	津島 哲夫	昭46	横須賀
7 副会長	熊田 成之	昭52	横浜
8 副会長	杉崎 隆之	昭58	茅ヶ崎
9 副会長	市川 和広	平02	藤沢
10 常任幹事	飯田 昌巨	昭38	横浜
11 常任幹事	米山 信治	昭47	西湘
12 常任幹事	柴田 博和	昭51	横浜
13 常任幹事	野崎由紀一	昭52	藤沢
14 常任幹事	柳沢 昭夫	昭53	横浜
15 常任幹事	石井 敦	昭53	藤沢
16 常任幹事	下川 幹生	昭53	西湘
17 常任幹事	山田 志郎	昭61	横浜
18 常任幹事	石田 智子	平02	藤沢
19 常任幹事	角南 一菜	平02	横浜
20 常任幹事	山本 昇平	平02	湘南
21 常任幹事	吉野 道夫	平02	茅ヶ崎
22 常任幹事	草間 裕美	平04	藤沢
23 常任幹事	塩沢 次郎	平04	横浜
24 常任幹事	青木 慶太	平08	鎌倉

## 特別委員会

総務委員会			
役職	氏名	卒業年	
委員長	石井 敦	昭53	
	草間 裕美	平04	
	塩沢 次郎	平04	

企画委員会			
役職	氏名	卒業年	
委員長	飯田 昌巨	昭38	
	津島 哲夫	昭46	
	河村 敏明	昭48	
	山田 志郎	昭61	

広報委員会			
役職	氏名	卒業年	
委員長	柳澤 昭夫	昭53	
	柴田 幸雄	昭42	
	柴田 博和	昭51	
	野崎由紀一	昭52	

## 日本大学藤沢高等学校・中学校同窓会委員会一覧(案)

委員会名	活動内容
広報委員会	4 ホームページ掲載にかかわる学校との調整 3 他付属校等の会報誌・広報誌等の調査 2 学校広報誌「日藤広報」との連携 1 会報誌の作成及び管理
企画委員会	3 各支部行事の支援 2 新規事業の企画立案 1 各種行事の運営管理
総務委員会	4 会計にかかわる学校との管理運営 3 同窓会室の運営管理 2 会員名簿の管理 1 総会・常任幹事会の運営管理及び議事録の作成管理

## 現行 日本大学藤沢高等学校・中学校同窓会委員会一覧

委員会名	活動内容
企画委員会	同窓会として新企画の提案・特別事業の計画ならびに実行
ホームページ委員会	同窓会ホームページの運営・掲載事項の検討などホームページに関する全般
住所録委員会	会員住所録の整理ならびに追跡調査・総会案内状の名簿作成
学校連絡委員会	学校行事に対する対応・文化祭時の同窓会コーナーや卒業を祝う会等
会報編集委員会	同窓会報の発行・その他会報の発行
総務委員会	事業計画の立案と実施・常任幹事会における議事進行議事録

## 常任幹事募集

同窓会は、顧問・会長・副会長・常任幹事の役員で構成されています。これに同窓会を担当する教職員がおります。定期的に常任幹事会を開き、会の運営を行っています。平成29年度は、第1回が4月22日に、第2回は定期総会の1週間前の5月20日に行われ、5月27日に総会を実施し、第3回は役員忘年会も兼ねて11月25日に行いました。8項に記載されている役員名簿をご覧になってお分かりの通り役員の高齢化が見て取れます。昨年度からは平成卒の同窓生が常任幹事として活動を開始しました。常任幹事会の模様は写真をご覧ください。また、同窓会には各委員会と地域ごとに支部が構成されています。常任幹事をやってみたいとお考えの同窓生は、最寄りの支部長や支部役員にお気軽にお声かけください。常任幹事会の手続きは、承を経て常任幹事になっていただきます。通常、常任幹事は年度に3回行われますが、緊急の案件処理のため臨時の幹事会を行うことがあります。同窓会の役員をためらっている同窓生ややりたくないと考えている同窓生は多々いると思います。学校の近況がわかることなど得るものも多々あります。昨年度から常任幹事会

## 同窓会室便り

30号で紹介した同窓会室のその後ですが、三役会をはじめ、さまざまな打ち合わせに使用する同窓会室となりました。同窓会予算で新たに冷蔵庫を購入し、かなり古くなった空調機を学校の子算で取り換えていただきました。同窓会室は、同窓生皆さんのお越しの際はぜひとも立ち寄ってみてください。高校本館1階の事務室で手続きをすれば鍵を受け取ることが出来ます。室内には、アルバムをはじめ、学校の資料が沢山あります。同窓会顧問である小菅昭治(昭和39年卒)さんが第6代会長の時に学校とかけあって設けられた同窓会室です。これから

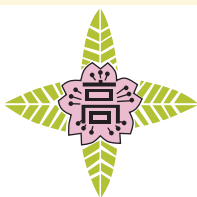


同窓会室利用の様子



常任幹事会の様子

でも若手常任幹事などのように増やすか、世代交代の話など、世代交代の話やいかに楽しい同窓会にしたいかという話が出るようになります。やはり同窓会は同窓生がいかに楽しめるかの会だなければなりません。常任幹事は常時募集していただきます。特に若手の方の参加を期待しています。若手の方が入ることによって同窓会も活性化されていくものと考えています。



# 日大藤沢と共に 新任の先生紹介

本校に着任された先生方のご挨拶です。

## 平成27年度着任

### 教師とは

教諭 太田 薫(平成27年着任)



平成27年度より、日大藤沢中学校・高等学校に採用していただきました。中学生の頃から憧れていた保健体育の教員という職業について、日々充実した生活をさせていただいて

### 今までを振り返って

教諭 小杉 翔一(平成27年着任)



日大藤沢高等学校・藤沢中学校では非常勤講師時代を含めると6年、専任として3年目を迎えました。振り返ってみると、講師として勤務しているときは教科を中心に、部活動に顔を出して生徒と交流を深めていました。中学からの夢であった教師という仕事。チャンスがあるならば、この学

### 忘れられない日

教諭 振屋 健司(平成27年着任)



歴史と伝統のある日本大学藤沢高等学校・藤沢中学校に勤務させていただき、3年目を迎えました。私には、本校に勤務をして、忘れられない日があります。3年前の夏、レスリングのインターハイ予選で当時高校3年生だった豆塚選手が準優勝した日です。

ろは、威厳を保とうと生徒に振る舞い「できないなら怒ってきかせよう」と気張って生活をしていました。しかし、言うことは聞きますが心を開かず生徒とすれ違ったり教科指導がうまくいかなかったりすることが多々あり悩む日々が続きました。

は一緒に笑い、時には一緒に悩み、という生活を送れるようになりたい。現在は高校2年生の担任をしています。基本的な礼儀やマナー、人生の基盤となる人間性を育てることなど、生徒の人生に大きくかかわる教員という仕事に責任感とやりがい、楽しさを感じます。まだまだ半人前だ、周りの先生方にはたくさん迷惑をおかけして日々支えていただいておりますが、「生徒が集まり心休まる太陽のような教員」を私の目標とし日々精進していきます。

校で教師をしたいという思いが叶い、平成27年度より専任として生徒の前に立ち、充実した日々を過ごすことができています。専任1年目は高校1年生の担任を務め、クラスでの交流や保護者との接し方など多くの先生方からアドバイスをサポートをいただきながら生徒と同じように成長することができました。合唱コンクールで歌った「心の瞳」を1年の最後にサプライズ合唱してくれたのは今でも印象に残っています。2年目は高校2年生の担任を務め、1年次に担

任した生徒もいれば授業でかわった生徒、ほぼ初対面の生徒もおり、どんなクラスになるのだろうかと思うドキドキしていたのを覚えています。同じ時間を過ごしていきれば、だんだんとクラスの雰囲気も変わり、とても楽しいクラスではあったのですが、良い意味で何人かのお調子者が目立っていたのでいつも戦っていた記憶があります。高校2年生といえればカナダ修学旅行。自身も初めて行く異国で初めての引率。担任としてはクラスの代表である責任と自覚が本当に試された4泊6日であったが、生徒の楽しそうな表情を思い出すと今でも笑顔になります。

選手に全国大会への切符を手にして欲しいと強く思っていました。いよいよ試合を迎え、豆塚選手は順当に決勝まで進みました。決勝では、2か月前の関東大会予選で悔しくも負けてしまった相手とのリベンジ戦になりました。序盤にポイントを許し、後半怒涛の追い上げを見せましたが、僅差で敗れてしまいました。試合終了直後、豆塚選手は泣きじゃくり、マットに倒れこんでいました。試合後、応援に来てくれた母親に「今までありがとう」と伝えました。彼の涙には、応援してくれた人

のための何と結果を出したかったのに、出せなかった悔しさが現われていたと感じました。スポーツは人を大きく成長させます。厳しい練習に耐え、さまざまな欲を我慢し、一つのことに打ち込んだ経験は彼の中であげがえのないものになったと思います。現在豆塚選手は教員を目指し、レスリング部のコーチとして後輩の指導をしています。レスリング部は豆塚コーチを含めたOBの方々が後輩を指導し、伝統を引き継がれています。私も日大藤沢の伝統を大切に、子どもたちの成長と未来のため、尽力していきます。

## 平成28年度着任

### 2年目を迎えて

教諭 大田 基(平成28年着任)



日本大学藤沢高等学校・中学校に着任してから2年が経とうとしています。着任してからの毎日があっという間に過ぎてい

### 2年目の教員生活

教諭 林 友樹(平成28年着任)



私が、日本大学藤沢高等学校・中学校に着任して2年がたとうとしています。着任した年、私は

### 2年を振り返って

教諭 三木 槿子(平成28年着任)



日本大学藤沢高等学校・中学校に着任して2年が経とうとしています。初年度は高校1年生の担任

も、気づかされる毎日でした。なかでも印象に残っているのが二つあります。一つ目は、学校生活最大イベントである修学旅行です。普段の学校生活では団結力が欠けたり、生活に感じることが多いので、別行動や現地の高校生との学校交流では同班の生徒やクラス全員で協力して、物事に取り組み姿勢が多くみられました。また、集合や起床時間について細かく言わ

れなくてもクラス全員が守ることができたのはクラス担任として非常に頼もしく感じました。修学旅行という行事を通して、普段教室では見ることができない生徒一人一人の新しい顔が見ることができました。そして、いろいろな経験が生徒を育てていくのだと強く感じました。二つ目は、修学旅行後の二者面談です。ある生徒は将来の目標について尋ねた際に、「海上保安官になりたい」と話してくれました。そのために貪欲に取り組んでいることや話してくれました。その言葉には日藤には生徒が新権威夢に向かっていく環境があることに気づか

りました。そして2年目である平成29年度より、高校2学年の担任をさせていただいています。担任になって感じたことは、担任の責任の重さとやりがいです。クラス担任は約40名の生徒の現在、そして将来のことを考えていかなければなりません。子どもたちが大きく成長する中学生、高校生の時期に担任としてかわかれたいことは、素晴らしい経験になります。

接することができ、これまでの教育の成果を見ることができ非常に良い機会でした。教師にとって、生徒の成長を最も身近で見られることは何にも代えがたい喜びです。教科指導、学級運営とそれととも、まだまだ未熟な点ばかりですが、生徒とともに日々成長できるように頑張っていきたいと思います。

を過ごさせていただいてきました。エネルギーに満ちあふれた生徒たちのおかげで「何事にも常に挑戦」という前向きな気持ちで初年度を過ごすことができました。今年度担任をしている高校2年生は、修学旅行を終えて自分の将来と真剣に向き合う時期になりました。将来の夢や目標を現実させるために、ひたむきに勉強や部活に取り組む生徒たちの姿を見ると、少

しでも生徒たちの力になりたいという気持ちになります。生徒が迷ったり悩んだりした時に、手助けができる教員でいられるように、生徒と共に成長し努力を重ねていきたいと思っています。最後に、生徒だけでなくたくさんの先生方に助けられて教員としての自分があるということを忘れては、今後頑張っていきたいと思っています。

### 健康的な学校生活のために

教諭 篠塚 昌代(平成28年着任)



在籍生徒数が800人以上であれば養護教諭を

複数配置にするという国の基準があるのですが、本校は在籍数1600人強に対して養護教諭は1名のみです。さらに、教職員約1000人の健康管理も担っています。そのため、保健室運営をいかに効率的に行うか、それだけで生徒・教職員一人一人の健康情報の把握や対応を的確に丁寧に行うことが重要だと、常に頭を使いながら取り組んでいます。私一人ではわずかな力であっても、担任・部活顧問・保健衛生部をはじめ各分掌の先生方、スクールカウンセラーの方々の助けがあったか

日大藤沢同窓会総会及び日藤祭出店報告

常任幹事 柳澤 昭夫(昭和53年卒)

平成29年度の総会は、平成29年5月27日(土)午後2時から、日本大学生物資源学部NUSホール3階で開催されました。通常では2階で行いますが、急遽大学で使用する事から懇親会も含めてすべて3階で行うこととなりました。



▲総会/受付

▶総会の様子



▲総会/懇親会の様子

▶懇親会・余興フラダンス



▶懇親会・余興変面



▶懇親会・余興高一輪車



▶懇親会・余興ホールジャグリング

学校の事務員を名乗り卒業生の個人情報乗る聞き出すとす

事務局だより

事務局 三武 蒼生(平成11年卒)

同窓生の皆さん、同期会やクラス会を



日藤祭



日藤祭

Table with staff movements: 着任(新任), 難波 英夫, 田伏 千草, 渡辺 司, 中島 達也, 藤原 くみ子, 退任(異動), 藤原 くみ子, 退任(定年), 小林 真由美

Table of branch leaders and teachers: 日大藤沢同窓会各支部長および支部担当教員名簿

Table of staff: 日本大学藤沢高等学校・藤沢中学校同窓会 役員名簿 (平成29年度~平成30年度)

日本大学藤沢高等学校・藤沢中学校 教員名簿 (平成30年3月1日現在・アイウエオ順)

Large table listing teachers by name and subject: 校長 英 語 押尾 良仁, 教諭 英語 岡田 有未, etc.